

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第2回放送の概要 (2009年5月23日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

“ただ今放送中”

今日は一人暮らしでも安心な「コレクティブハウス・悠遊館」を扱っておられる、北区の不動産会社、不老様 (078-958-6226) にご協力をいただきました。

1. オープニング: 新型インフルエンザ

新型インフルエンザについて放送スタッフのなかちゃんより話をしてもらいました。

不幸にも多くの方が感染、母校の兵庫高生にも多いので早く良くなってほしい。メキシコでの発生報道から見て既に初期対策期間は逃している。日本国内にも感染拡大の可能性大である (覚悟した)。

感染症対策とは、人類が、見えない敵 (ウイルス) と繁殖競争、生存競争を戦うこと。故に社会防衛が優先される、個人の行動が制限されることになる。人に移さないこと、感染の連鎖を断ち切ることが大事。疫学調査等で、感染ルートや原因を探るが蔓延する前が効果的。個人の体力・免疫力と、ウイルスの感染力・発病力との勝負になる。人によっては、感染しない人、発病しない人がある。人間の外部からの攻撃に弱い部分は粘膜、鼻、喉、眼である。SARSのように急性で過激なタイプではなかったことは幸いしている。病状が軽く季節性インフルとの混同があると発見が遅れ、感染拡大に繋がる。感染症の届け出は医師の診断による。今回、神戸高生を診られた先生は殊勲。届け出には勇気と決断がいる。

新型インフルへの対策とお願いとして、TV、ラジオで言われているように、栄養・睡眠により体力・免疫力をつけ、感染防御のため、石鹸手洗い・マスク・うがい・湿度対策、症状あれば人と接しない・出歩かない。医師に早く相談する。

兵庫高生たちや神戸高生たち、患者さんや濃厚接触・自宅待機の人たちは本人が悪い訳ではない。本人は原因者やバイ菌ではない、ウイルスが悪い。周囲の人毛嫌いしないで、暖かく迎えてやって欲しい。迷惑かけた等の卑下する必要はありません。あなたは、被害者なのです。みなさんは、『人類の見えざる敵 (新型インフルエンザウイルス) と戦って傷ついた戦士』たちです。一刻も早く立ち直って下さい。神戸の新型インフルエンザ対策は世界的なモデルと、WHOも絶賛。これは、震災で得たことを教訓に、地域を上げて臨機応変に対応していることが評価されている。

2. ゲストコーナー：震災時の行政の対応

行政の立場からの取り組みについて、当時神戸市理財局主税部勤務の不老嘉彦さんと兵庫県知事公室勤務の中嶋邦弘さんから話を伺うと共に、被災住民の立場から和田幹司さんに参加してもらった。

不老さんの所属する主税部が罹災証明の発行を担当したのは、大規模災害時に行政が被害程度を判定し、証明を発行することについて準備が全くされていなかったこと、担当部署は区役所や市の保健福祉局になるがこれら部署は避難所対応で人手がなかった、また主税部は固定資産税を徴収するため家屋の被災程度を評価する必要があるためである。証明書を発行する必要性は義援金の配布、授業料免除等行政の各部署が被害程度を把握しないと業務が出来ない状態になっていた。また、被災者は被害程度を訴えるよりどころとして必要であった。罹災証明の難しさは例えば半壊と評価したとき、それにより不利益を蒙った被災者が損害賠償を請求することも考えられた。一方約 50 万世帯の評価を数日で実施すると 1 件当たり 10 分程度の時間で評価することとなる。評価に当たっては神戸市だけでは不足するため、他都市の家屋評価担当者約 500 名の応援を得た。金曜の午後に手弁当、1 週間の応援要請の方針が決まり、日曜の 15 時には全員がそろった。

市民の方はどのように評価されるか不安を持っていた。とりあえず短時間に評価する必要があったため初めに大きな網ですくい、漏れたものは後日再評価する 2 段階方針を採用した。家屋を外部からの評価から始めていったため、内部が外部以上に壊れている場合被災者の不満が強く、そのようなケースについて不平、不満、不公正がマスコミに取り上げられた。行政の準備不十分も要因ではあった。証明書は最初義援金を配布するためにバタバタと実施した。その後所得税の還付、学校の授業料免除、企業が従業員に支給する見舞金等、給付、救済の基になった。

中嶋さんは当時県で広報を担当していた。マスコミ関係については震災情報の報道を色々お願いし実行していただいたが、一つ出来なかったことは多国言語放送であった。また行政の良い取り組みの報道より問題点の報道が優先された。被災者に早く届けるべき情報が遅れたこともあった。行政の立場から混乱させられた印象がある。行政に対する更なる協力が得られておればもう少しスムーズな復興が出来たと思う（不老さん）。これに対し当時はマスコミからそのように言われても仕方のない対応、リーダーシップが発揮できていないところがあったとの和田さんからの指摘があった。その後の復興過程では観光地にお客さんが来てもらえるよう被災地の状況を PR してもらおうようお願いし、情報を流してもらった。

これまでに例のない被害の大きさで、予定していないことばかり発生したので行政の対応もまぶしかった。多々迷惑をかけたと思うがお許し頂きたい。

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

5月30日(土) 須磨史跡めぐりウオーク JR鷹取駅北側広場 9時15分集合。

参加費無料 申し込み不要 NPO法人須磨歴史倶楽部主催。

6月30日まで 王子動物園写真コンクール投稿受付中、この1年以内に撮った動物写真が対象。

6月1日(月) 第2回三国志検定受付締め切り日。検定は全国7箇所で開催。横山光輝さん ゆうかりの三国志祭は8月22,23日新長田で開催。

6月20日 キャンドルナイト関連イベント開催。NHK神戸放送局のワークショップ「オリジナルエコキャンドルをつくろう」では小学生（30名程度）とその保護者を募集中。

4. 次回（6月27日）の予定

兵庫高校同級生で神戸ルミナスホテルを運営している東澤さんに震災時の苦労話をお聞きする予定。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：buyou49@nifmail.jp